

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃひゅーまんでざいん		団体ウェブサイトURL
	株式会社ヒューマンデザイン		http://www.humandesign.co.jp/
代表者職・氏名	代表取締役 相川太郎		
制作団体所在地	〒 102-0085	最寄り駅(バス停)	四ツ谷
	東京都千代田区六番町12番地6		
電話番号	03-3222-1177		
ふりがな 公演団体名	おんがくざみゅーじかる		団体ウェブサイトURL
	音楽座ミュージカル		https://ongakuza-musical.com/
代表者職・氏名	代表 相川タロー		
公演団体所在地	〒 194-0013	最寄り駅(バス停)	町田
	東京都町田市原町田4-24-29		
制作団体 設立年月	1987年8月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表:相川タロー チーフプロデューサー:石川聖子・藤田将範 プロデューサー:山本響子・富永波奈・林芳弥	団体構成員:左記役職員6名 カンパニーメンバー28名/加入条件:1.オーディションによって選別された者 2.特別推薦によりプロデューサー会議で認められた者	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者置く	本事業担当者名	林 芳弥
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	常山 千賀子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@humandesign.co.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1987年8月 株式会社ヒューマンデザインを設立し“音楽座ミュージカル”の活動を開始。 1988年 音楽座ミュージカル「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」を旗揚げ公演として上演以降毎年新作を発表し、文化庁芸術祭賞をはじめ数々の演劇賞を受賞。 2009年 人材研修プログラム「シアターラーニング」を教育機関向けに開発・提供スタート。 2011年 「シアターラーニング」を企業向けに提供開始。 2017年 世界初のVRミュージカルとして「リトルプリンスVR supported by VIVE」を公開。 2018年 beyond2020プログラムとしてVR、IoTとミュージカルのコラボレーションによる「LITTLE PRINCE ALPHA」を開催。 2020年 東宝製作による音楽座ミュージカル作品のライセンス上演が開始。現在15作品のオリジナルミュージカルを持ち、創造活動を続けている。</p> <p>直近5年の受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和二年度(第75回)文化庁芸術祭賞 演劇部門新人賞 ・第40回 2020年度日本照明家協会賞奨励賞 ・第6回 園田・加納賞 ・2022 All Aboutミュージカル・アワード 主演男優賞 ・第43回(2023年度)日本照明家協会賞(舞台部門)優秀賞 		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>創立当初から数多く実績あり、以下直近5年間の実績</p> <p>2019年度「グッバイマイダーリン★」全国で4ステージ上演、「7dolls」大阪府で1ステージ上演 2020年度「SUNDAY(サンデイ)」東京都・大阪府・愛知県で5ステージ上演、「リトルプリンス」東京都・千葉県で5ステージ上演 2021年度「JUST CLIMAX(ジャストクライマックス)」東京都、愛知県で2ステージ上演、 2022年度「ラブ・レター」兵庫県・広島県・愛知県・静岡県で5ステージ上演、 2023年度「泣かないで」大阪府・愛知県・広島県・静岡県で6ステージ上演、「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」東京都・神奈川県・大阪府・広島県で5ステージ上演、 2024年度「SUNDAY(サンデイ)」東京都・神奈川県・愛知県・広島県で10ステージ上演、「ホーム」東京都・神奈川県・栃木県で11ステージ上演予定</p> <p>また、ワークショップと公演を融合させた体感型芸術鑑賞プログラム「ミュージカルシアターラーニング」を毎年多くの学校で実施している。 今年度は福島県の小学生向けに9ステージ上演したほか、東京都・広島県・愛知県などで10ステージ以上を予定している。</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>2008年3月国際障害者交流センター「マドモアゼル・モーツァルト」バリアフリーアートアカデミーの一環として/2012年1月町田市民ホール「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」障がい者招待特別貸切公演(主催:ヒューマンデザイン・(財)町田市文化・国際交流財団、共催:町田市)、6月兵庫県立芸術文化センター「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」障がい者招待特別貸切公演(主催:ヒューマンデザイン、協賛:株式会社ヒカリ引越センター、協力:公益財団法人西宮市文化振興財団)、2013年11月町田市民ホール・新宿区文化センター「ラブ・レター」チャリティ公演、2014年5月町田市民ホール「泣かないで」チャリティ公演、2015年3月「七つの人形の恋物語II」聴覚・視覚障がい者招待公演、2016年「リトルプリンス」巡回公演事業(足利特別支援学校、熊谷特別支援学校)</p> <p>2023年「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」が「2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト 文化芸術における合理的配慮提供マッチング事業」に採択され、10月大阪・東京公演において鑑賞サポート(・バリアフリー日本語字幕/英語字幕「UDCast LIVE(ユージーキャストライブ)」タブレットの貸し出しに対応・台本貸し出し・事前の舞台説明テキストを提供・駅からの移動サポートあり・介助者無料)の実施</p> <p>2024年度音楽座ミュージカル「ホーム」が東京都鑑賞サポート事業に採択され、12月の東京公演において鑑賞サポート(・バリアフリー日本語字幕/英語字幕「UDCast LIVE(ユージーキャストライブ)」タブレットを実施予定。また、同じく12月に福島県内であらゆる障害に対応したバリアフリー公演(ミュージカルシアターラーニング)を実施予定</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>			
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
	<p>PW:</p>		

別添	なし			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 音楽座ミュージカル】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	音楽座ミュージカル「リトルプリンス」			
企画のねらい	<p>体験活動を通じた“主体的な鑑賞会”を実現することによって、ただ観るだけでは得られない深い学びや発見のある場をすることを目的とします。演る側と観る側に分けるのではなく、舞台と客席の垣根を越え、子ども達のイメージする力を存分に刺激し、ともに作品を創り上げていきます。能動的になれる場作りをし、ミュージカルや演劇に触れたことがなかったり、興味のなかったりする子ども達にとっても「楽しい」体験となるようにすることで、子ども達の興味関心の幅が広がり、これまでになかった感動体験になるようにしていきます。</p> <p>これにより、子ども達の非認知領域を刺激し、表現することや自由に発想することの楽しさ、自分事にする力、コミュニケーション力の向上など、人が生きていく上でベースになる部分への深い学びを醸成すること目標としています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>【演目概要】</p> <p>■音楽座ミュージカル「リトルプリンス」は、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』を原作に1993年に初演した作品です。1995年に世界で初めての独占ミュージカル化権を取得したオリジナルミュージカルで、その後、演出や脚本を変更しながら上演を重ねてきました。体育館での上演実績も多い上、2022年1月には東宝株式会社による上演(脚本・音楽のライセンス貸与)が行われるなど、初演から30年近くが経った今も広く好評をいただいている作品です。</p> <p>-あらすじ-</p> <p>ある霧の深い夜、夜間飛行中の飛行機が砂漠の真ん中に墜落する。乗っていた飛行士はその砂漠で、星から来たという不思議な少年(星の王子さま)と出会った。羊の絵を描いてほしいとしつこく迫る王子に辟易する飛行士だったが、スケッチブックに描いた「象を呑み込んだウワバミ」の絵を言い当てられたことをきっかけに、次第に心を開いていく。王子は飛行士に、自分が住んでいた小さな星、そこを出るきっかけとなった花のこと、そして地球に来てからの様々な出会いを語る。それらの体験を自分の人生に重ね、深く受け止めていく飛行士。やがて、飛行機の修理が終わったとき、王子は…</p> <p>-本演目に関わる受賞歴-</p> <p>平成五年度文化庁芸術祭賞、第三回読売演劇大賞優秀女優賞、第三回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、第六回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、第26回照明家協会優秀賞、東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞</p> <p>【演目選択理由】</p> <p>パンデミック、戦争、異常気象、技術革新、働き方改革、ハラスメント、SNS等を中心とした誹謗中傷…などなど、私たちが生きている世界は今まさに混沌の真っ只中にあり、何を信じたらいいのか、誰を信じたらいいのか、何が正しくて何が間違っているのか、全くわからない時代へと突入しています。なんとか本質を見失わないようにと誰もががもがいている今、届けるべきものは何かを考えた時に、「肝心なものは目には見えない、心で見なくちゃ物事はよくわからない」という本作中に出てくるメッセージに行き当たりました。この言葉は砂漠でずっとひとりぼっちだったきつねが、王子様というかけがえのない存在に出会い、発するものです。しかし、その王子様もあつという間に別れがやってきてしまい、きつねは自らが決断して砂漠でのひとりきりの生活に戻っていきます。また、その王子様も飛行士というかけがえのない存在に出会うのですが、きつねがそうしたように、最後には飛行士との永遠の別れを決断するのです。</p> <p>この作品には今を生きていく中で、今だからこそ伝えたいメッセージが、作品に触れた人それぞれに感じ得る要素が、何が良くて何が悪いなど押し付けがましいものではなく、たくさん詰まっていると思います。激動の時代を生き抜き、予想もできない未来の社会の主演となっていく子ども達に届けるべく、ベストな作品であると考えています。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>事前に指名して稽古をすることで緊張など作品が存分に楽しめない児童・生徒が出るのを避けるため、作品の中でランダムに児童・生徒を選び、冒頭の王子と飛行士の出会いのシーンでのひつじの役や、中盤の王子とキツネが出会うシーンに生えている草の役を演じていただきます。ストーリーや作品の流れを切ることなくシームレスに児童・生徒をピックアップし、参加していただく設定です。また、最後に会場全体で一体となって歌い踊るシーンを設定し、事前のワークショップでシーン体験と練習の時間を設け、会場の児童・生徒全員が、歌や踊りの楽しさを体験できる内容にします。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	5名程度(最後はWS参加者全員)	
		鑑賞人数目安	50名～500名程度(全校児童・生徒)	

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	音楽座ミュージカル「リトルプリンス」 原作:アントワーン・ド・サンテグジュペリ『星の王子さま』 脚本・演出:相川タロー・ワームホール・プロジェクト 音楽:高田 浩・金子浩介・山口琇也 振付:上島雪夫・ワームホールプロジェクト オリジナルプロダクション総指揮:相川レイ子 【プログラム構成】 1.イントロダクション(児童・生徒との掛け合いあり) 2.音楽座ミュージカル「リトルプリンス」上演 3.質問コーナー(希望があれば) <div style="text-align: right;">公演時間 90 分</div>					
出演者	【キャスト】 王子:山西菜音 飛行士:大須賀勇登 花:北村しょう子 キツネ・地理学者:小林啓也 ヘビ:酒井紫音 渡り鳥ほか:3名 計8名 ※音楽座ミュージカルに所属のメンバーより出演 ※いずれのキャストも公演時にさらに適したメンバーがいれば変更の可能性あり					
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	相川タロー(脚本・演出) 1973年東京生まれ。大手ゲーム会社のクリエイターを経て、2016年に音楽座ミュージカル代表に就任。以後、音楽座ミュージカル作品の脚本(改訂含む)・演出を手掛ける。「Little Prince ALPHA」では最新のVR技術を導入し、先進映像協会グッドプラクティス・アワード2018奨励賞を受賞。2020年に上演した「SUNDAY(サンデイ)」では主演の高野菜々が「令和2年度文化庁芸術祭賞(演劇部門新人賞)」を受賞。 高田浩(音楽・音楽監督) 桐朋学園大学音楽学部卒業。作曲、編曲、音楽監督、演奏など、音楽座ミュージカルの音創りに欠かせない存在。ピアニストとしての評価も高く、ほとんどの作品でバンドマスターとして活躍。客席と舞台をつなぐ演奏を実現している。主な作品に「泣かないで」「7dolls」「リトルプリンス」「メロに乗って」「マドモアゼル・モーツァルト」「ホーム」「グッバイマイダーリン★」「ラブ・レター」「SUNDAY(サンデイ)」など。					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 8 名 スタッフ: 8 名 <hr/> 合計: 16 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 8.5 m 台数: 1 台			
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時～14時30分	10分	14時30分～16時	16時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月		
	0日	0日	5日	10日		
	10月	11月	12月	1月		
	8日	4日	10日	8日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	45日		

(図1) 体育館使用のイメージ(※体育館の常設ステージにて上演いたします。各学校のステージの広さにあわせて装置の設置が可能です。)



(図2) 舞台の設置イメージ。



(図3) 音楽座ミュージカル「リトルプリンス」上演の様子



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 音楽座ミュージカル 】

ワークショップのねらい	<p>児童・生徒の中には「ミュージカル」に触れたことがない人も多くいると思います。そこには好奇心が湧く子もいれば、嫌気がさす子も当然いると思います。このワークショップでは、まずアイスブレイクやシーン体験など、楽しみやすい・親しみやすいワークを通して、ミュージカルや演劇に対する壁をとっばらうことがねらいです。最後には本編の1シーンを俳優と一緒に創り上げる体験をすることで、多くの児童・生徒に本公演への興味・期待を持ってもらえるようにしていきます(このシーンは本公演でも一緒に参加できるものとなります)。また、体験活動の間にディスカッションの時間を挟み、自分が感じたことをそのままシェアしたり、また周りの人が感じていることを聞くことで、「ただ演じてみた」「ただ、演じた人を見ていた」ではなく、一人ひとりが主体的に参加し、より学びにしやすい場づくりを行なっていきます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	50人～500人程度(鑑賞者全員)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>90分</p> <p>①イントロダクション「ミュージカルとは？」(15分)</p> <p>ミュージカルを見たことがある人もない人もミュージカルを身近に感じられるよう、アイスブレイクや音楽座ミュージカルの歌やシーンをを用いながら体感型で解説していきます。</p> <p>②体感・リトルプリンスI(25分)</p> <p>1.実際に鑑賞する音楽座ミュージカル「リトルプリンス」の作品の世界を体験。作品に登場する飛行士や王子、花の役を児童・生徒からランダムに選んで、冒頭のシーンを感ずるままに演じてもらいます。ともにシーンを作り上げていく楽しさを体感するプログラムです。</p> <p>2.今見たシーンのこと、そして「出会い」についてディスカッションを行います。</p> <p>休憩(10分)</p> <p>③体感・リトルプリンスII(25分)</p> <p>1.鑑賞当日に全員で歌う「アストラル・ジャーニー」の曲について、シーンの背景などを解説します。 2.歌と簡単な振付を指導 3.全員で実際に踊り歌います。</p> <p>④「アストラル・ジャーニー」を実演(15分)</p> <p>俳優が実際に「アストラル・ジャーニー」のシーンを実演、そこに子ども達も全員参加し、ともにシーンを創り上げていきます。</p>		

その他ワークショップに関する特記事項等	<p>音楽座ミュージカルでは、小学校から大学・専門学校など教育機関、各種企業の皆様向けに毎年多くの表現力ワークショップ、研修などを開催しています。その経験をいかし、先生方と密にやり取りしながら、当日の児童・生徒の様子も見て柔軟に対応していきます。プログラムについても、参加する児童・生徒の特徴や事情に応じて変更等柔軟に対応することが可能です。</p> <p>また、カリキュラムの関係でWSに時間を割きづらいケースもあると思うので、上記の内容を1時限の中に収めるなどの対応もできます。</p>
----------------------------	---

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 音楽座ミュージカル】
<p style="text-align: center;">本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 【本事業を通じて実現したいこと】 初めてミュージカルに触れる子ども達もおそらくたくさんいる中で、この貴重な一体験がどうであるかは極めて重要で、作品を届ける私たちの責任は重大です。 それゆえに私たちが一番こだわるのは作品のクオリティです。子ども達がハイクオリティな作品に触れることで、今までにない感動体験を創出することが使命であると考えています。 また、これをきっかけに子ども達がミュージカルや演劇に興味を持ち、本事業を超えて今後もさまざまな舞台芸術に触れていくようになるなど、文化の普及、未来の担い手の創造に寄与していければと思います。</p> <p>【上記の実現に向けて、実施の工夫】 高いクオリティの作品を届けるにあたっては、その内容だけに限らず、子ども達が作品にのめり込みやすい環境を整備することが大事です。そのために事前ワークショップで作品理解を助長するワークをいれたり、ワクワク感を醸成し本公演への期待感が高まるようにしたりするなど本公演鑑賞に向けての心づくりを丁寧に行います。 また、音環境や照明環境、気候などの要因によって集中を切らすことのないよう、各学校の環境や設備をしっかりと確認し、最善な環境で鑑賞に臨めるよう、各学校とも連携していきます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 【学校との連絡調整について】 ご担当の先生とは電話とメールでしっかりコミュニケーションをとっていくことで、信頼関係を築いていきます。ワークショップについては準備物等は少ないため、電話やメールで簡易にやりとりしますが、本公演での確認事項・準備事項についてはあらかじめ文書にまとめたものをお渡しし、先生がスムーズに対応しやすいようにしていきます。 また、ワークショップ・本公演とも実施の直前には最終の確認の電話を行うようにし、実施時間や内容について齟齬がないか、何か確認漏れがないかなど綿密にチェックします。</p> <p>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】 あらかじめ観劇する児童・生徒の特徴や注意点を確認し、特別配慮すべき事項については学校と相談のうえ、できる限り要望に応えられるように対応していきます。</p> <p>【配布プログラムへの工夫】 プログラムに、出演者一同からのメッセージ動画をつけることで、鑑賞後にあらためて内容を振り返ったり、家の方に感想を話したりなど、学びをもう一つ深めるツールとして役立てばと思っています。</p>